



整備工場の今後を守る為の オートマチックオイル交換推進！

近年、車両の長期保有が進み、過走行車が多くなる一方で重要な動力伝達装置のオートマチックトランスミッションフルード(以下ATF)の無交換車が増え、トラブルが多数発生している。

ATF無交換車は、フルードを交換するだけで、変速ショックや滑りが発生する可能性がある為、修理工場の多くは走行約8万km以上の無交換車はATF交換をお断りしているのが現状です。



ATF交換を、整備工場やディーラーで断られた、又は交換の必要性を知らないユーザー様が乗り続けた場合は何処かのタイミングで必ずトラブルは発生します。それが過走行車の車検や法定点検で預かり中や、納車後にトラブルが発生した場合にどうなりますか？

- ・大きなクレームになり、工場への損害が発生…
- ・なぜ、車検の時に教えてくれなかったのか？と信用損失…

このような事になります。中古車販売後にトラブルが起こった場合も同様のクレームになります。

●そこで…安全にATF交換を勧める為の方法は以下の3ステップ↓

①コンタミチェック	目視では分からない交換危険度(摩耗粉)の測定で交換良否判定
②ATF全量交換	全量交換することにより、摩耗粉を外部に排出
③SOD-1Plusの添加	クラッチに付着した酸化被膜、バルブボディ、オイルクーラー等の酸化物質洗浄

この方法を実践することにより、トラブルを未然に防ぎ、予防もできます。

【フルードが黒い】【走行距離が多い】等はありません。

交換出来る車両のほうが圧倒的に多いのです。



オートマチックオイル交換推進によるメリット！

- ①今まで取り込めていなかったお客様に提案できる
- ②トラブルを未然に防ぐことができる
- ③交換を促進していない工場様が多く早く始める事で集客に繋がる
- ④来店を促進することで、ATF交換以外の修理や新規顧客の獲得が出来る
- ⑤お客様も安心して快適に乗り続ける事ができ感動を与える事が出来る

ATF交換を必要としているユーザー様は大変多く、先行して始めている工場様は既に困り込みを実施し大きな収益を上げています。

ブログ、ホームページを活用し他県からも集客されています。過走行車のATF交換が出来る工場様が少ない今がチャンスです。確かな知識と技術を習得し直ぐに始めましょう。

これが弊社が考える「整備工場を守る事」です！



● 車種事例資料 ●

！危険！

フルードの色や走行距離ではわからない



車種名	SUZUKI LANDY		
型式	DBA-SC25	エンジン型式	MR20
年式	H21,12	走行距離	91,732km

2012年に新車購入。2014年にクレームとしてミッション載せ替え(走行距離約6万Km時)
その後は特に症状もなく、弊社で今回のCVTF交換に至る。そこでCVTF交換前にコンタミチェッカーを
掛けたところチェッカーのフィルターが詰まるほどのコンタミ(摩耗粉)が確認された。

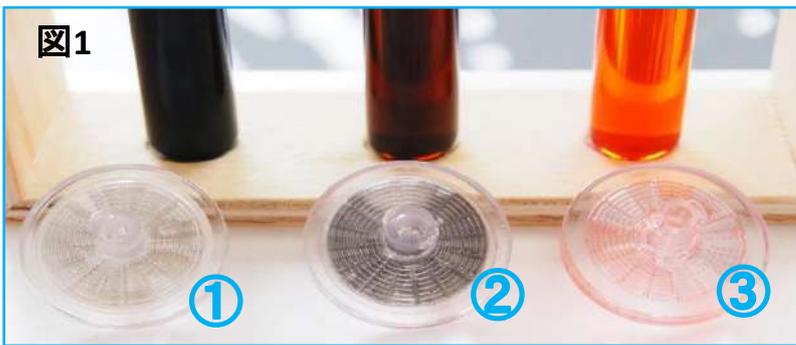


図1

- ①過去当社にて施工した車両【BMW E90】約199,000Km走行車から採取した純正指定ATF
- ②今回当社にて施工した車両【SUZUKI LANDY】から採取した純正指定CVTF
- ③SUNOCO社製 CVTF(新油)

フルードの色だけで判断するとBMWの純正ATFが一番汚れているように見えるが実際はそうではない。
上記のフルード3種にコンタミチェッカーをかけたところ、開始から約19分経っても規定量の20ccに
至らず吸い込みがストップしてしまった。(図2)

**このことから、フルードの色や走行距離からだけでは交換の良否判断は
出来ず、コンタミチェッカーを使ったチェックの重要性がわかる。**

ホームページ掲載申込書

お客様より沢山のお問合せが有ります。掲載する事でビジネスチャンスが生まれます。

会社名・法人名	社印でも構いません		
住所・郵便番号	〒 - -		
TEL		FAX	
ホームページアドレス	弊社HPから誘導致します。		お取引先名 振興会 部品商

FAXでのお申し込みは右記へ 092-292-4451 (FAX専用)
有限会社 D1ケミカル 福岡市博多区半道橋1丁目3番45号 <http://d1-chemical.com/>